

氏名 鈴木 信 也

学 位 の 種 類 医 学 博 士

学 位 授 与 番 号 甲 第 154 号

学 位 授 与 の 日 付 昭和40年 3 月31日

学 位 授 与 の 要 件 医学研究科内科系内科学専攻
(学位規則第5条第1項該当)

学 位 論 文 題 目 C₅₈ マウス白血病の研究

論 文 審 査 委 員 教授 平 木 潔 教授 小 坂 淳 夫 教授 小 川 勝 士

学 位 論 文 内 容 要 旨

マウスウイルス性白血病の無細胞移植に於て、原白血病とは異った病型が生じることがある。しかし、マウス白血病では骨髓性白血病は極めて少く、類白血病反応との鑑別が困難なことが多い。私はC₅₈マウスの自然発生リンパ性白血病及び移植白血病株について、血液学的細胞学的検索を行って、その特徴を明らかにするとともに、リンパ性白血病組織の無細胞濾液を同系新生児マウスに接種し、白血病発生の促進と骨髓性白血病への病型変異が起ることを認めた。

また、これらの骨髓性白血病について細胞学的特徴を諸種の血液学的検索手段を用いて検討しリンパ性白血病との間に明瞭な差があることを認めた。また両白血病組織を電顕的に観察し、同一形態のC型ウイルスの存在を認めた。教室考案の臨床組織培養法のマウス白血病への応用を試み、リンパ性白血病ではリンパ腺、脾が、骨髓性白血病では骨髓、脾が、それぞれ白血病特有の増生様式を示すことを認めた。

昭和39年10月発行 岡山医学会雑誌 76巻10号に掲載

論文審査の結果の要旨

鈴木信也提出の「C₅₈マウス白血病の研究」に関する学位論文につき審査した結果の要旨は次の通りである。

鈴木信也は第1編でC₅₈マウスの自然発生リンパ性白血病につきその血液学的細胞学的特徴を述べ診断基準を明らかにし、またその移植白血病株に於ける血液像の推移を追求し、骨髓性類白血病反応を伴つて来ることを明らかにした。第2編ではリンパ性白血病組織より得た無細胞濾液を同系新生児マウスに接種し、白血病発生の促進の起ること、また比較的高率に骨髓性白血病への病型変異の起ることを認め、合せてその細胞学的検討を行い、リンパ性白血病との鑑別点を明らかにしている。また両白血病とも電顕的観察で、同一形態のC型ウイルスの存在を認めている。第3編では臨床組織培養法を応用し、白血病マウスの造血組織を観察し、リンパ性白血病ではリンパ腺と脾が骨髓性白血病では骨髓と脾が、それぞれ白血病特有の増生様式を示すことを明らかにし、また蛍光培養法による増生帯色調の差異よりリンパ性白血病の鑑別、更に類白血病反応との鑑別を明瞭に行い得ることを述べている。

以上の通り本論文は新知見に富み、学術上有益であり、著者は医学博士の学位を授与せられるべき学力を有すると認める。